

## 第27期末（2024年9月17日）

基準価額	13,245円
純資産総額	30億円
騰落率	4.2%
分配金	1,000円

# ニッセイ 次世代医療ファンド

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年3月19日～2024年9月17日

第27期（決算日 2024年9月17日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ次世代医療ファンド」は、このたび第27期の決算を行いました。

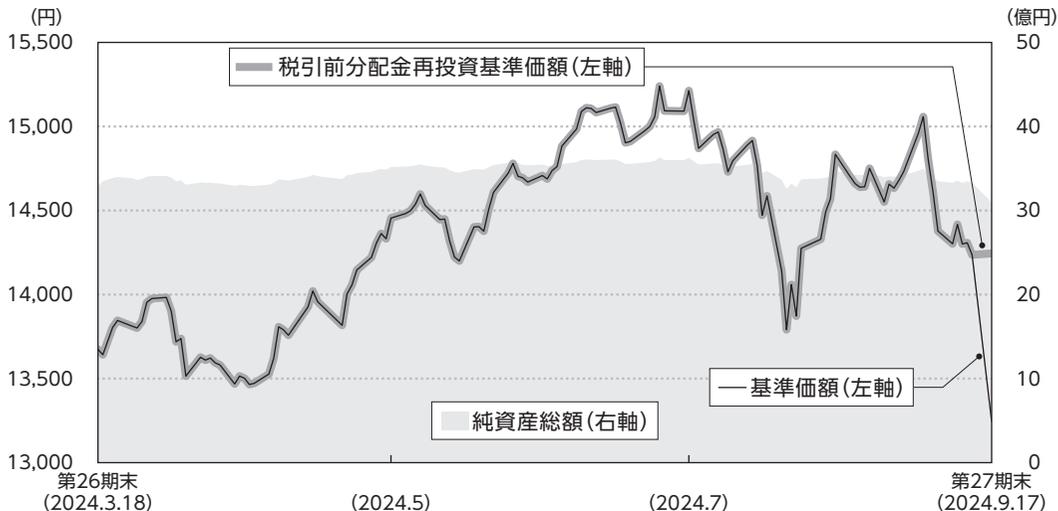
当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 運用経過

2024年3月19日～2024年9月17日

## 基準価額等の推移



第27期首	13,674円	既払分配金	1,000円
第27期末	13,245円	騰落率(分配金再投資ベース)	4.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・4月下旬から7月上旬にかけて、米利下げへの期待感や人工知能(AI)関連銘柄の需要拡大が好感されたことなどから株価が上昇したこと
- ・市場予想を大幅に上回る肥満症治療薬の売上動向と抗肥満薬の良好な治験結果を受けて、保有銘柄の株価が上昇したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・4月上旬から中旬にかけて、米利下げ観測の後退や中東情勢の緊迫化を背景に株価が下落したこと
- ・7月中旬以降、日本の当局による円買い介入や日銀が追加利上げを行った一方で、欧米主要中央銀行は利下げに踏み切り、円が米ドルなどの主要通貨に対して円高となったこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第27期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	133円	0.921%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は14,392円です。
(投信会社)	( 63)	(0.441)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 63)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 6)	(0.039)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.015	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	( 2)	(0.015)	
有価証券取引税	0	0.003	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.003)	
その他費用	3	0.019	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	( 2)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	138	0.957	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

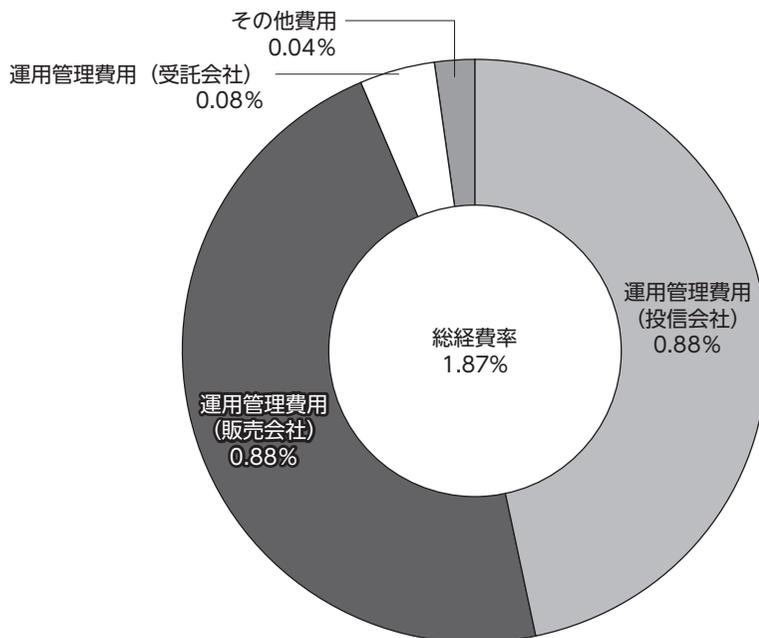
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.87%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

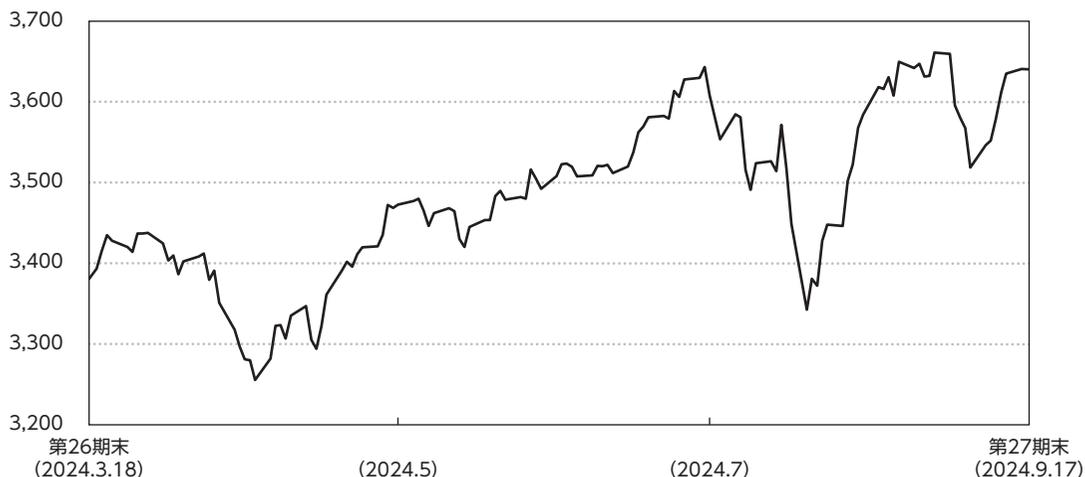
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 株式市況

【MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスの推移】



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、米国で堅調なマクロ経済指標の発表が相次ぎインフレ懸念が再燃したことにより米利下げ観測が後退したことや、イランとイスラエルの対立激化など中東情勢がいつそう緊迫化したことから株価は下落しました。しかし、4月下旬以降は米国で低調なマクロ経済指標の発表やインフレ減速が示されたことなどから年内の米利下げ観測が再び高まったことや、中国政府による不動産市場の支援策パッケージ発表、AIの成長を支える半導体関連企業が再び市場予想を大幅に上回る業績を発表しAI関連銘柄の強い需要が確認されたことから、株価は上昇基調となりました。7月中旬以降は米大統領選を巡る混乱や米政府の中国に対する半導体輸出規制の強化懸念などによりテクノロジー関連銘柄に利益確定売りを出し他の業種へ資金を移動させるセクターローテーションの動きとなったことに加えて、日銀の利上げに端を発した世界的な株価変動により上げ幅を縮める場面があったものの、8月以降は米景気の堅調さと利下げを下支えに再び上昇に転じました。

## ポートフォリオ

主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### <個別銘柄>

「新薬開発」関連銘柄については、今後大きく売り上げを伸ばすことが見込まれる研究開発パイプライン（研究開始から承認・発売にいたるまでの開発品）を持つ企業や、アルツハイマーや抗肥満薬のようにジェネリック医薬品（注）の製造が困難な医薬品開発で高い競争力を持つ企業、またオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）に力を入れている企業に注目しています。引き続き相対的に株価の割安感があり、新薬が業績に反映する良好なサイクルの途上であると判断し、最も比率の高い分野となっています。

「医療インフラ」関連銘柄については、医療の革新・進化を支える企業が多く、医療サービスの変化を背景にIT（情報技術）の進化を活用して革新的なサービスを提供できる企業や、付加価値の高い製品を持ち、シェア拡大が期待できる企業を中心に保有しています。

「動物用医薬品」関連銘柄については、ペット需要の拡大等もあり動物の健康被害抑制を目的とした医薬品市場の拡大から恩恵を享受できる企業を中心に保有しています。

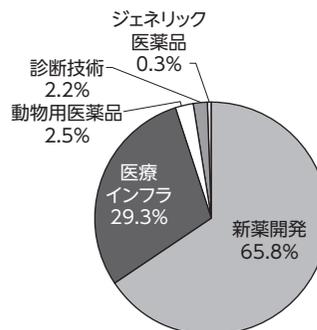
「診断技術」関連銘柄については、医療技術の進展に注力し、医療支出抑制や個々人に合致した治療の促進を目的とした個別化医療の進展で恩恵を受ける企業を中心に保有しています。

（注）製薬会社が開発した医薬品の特許切れに伴い、有効成分や効能・効果などが同じものとして新たに製造・販売される安価な医薬品（後発医薬品）。

### <成長分野別>

当期末時点では、組入比率の高い順に右グラフの通りとなっています。

【成長分野別組入状況】



（注1）比率は対組入株式等評価額比です。

（注2）成長分野は、当ファンドの運用方針に基づきニッセイアセットマネジメントが独自に分類したものです。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは、日本を含む各国の「医療関連企業」の中から、世界の医療関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年3月19日～2024年9月17日
当期分配金（税引前）	1,000円
対基準価額比率	7.02%
当期の収益	559円
当期の収益以外	440円
翌期繰越分配対象額	3,245円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

当ファンドが投資対象とする「医療関連企業」を取り巻くファンダメンタルズ（基礎的条件）に変化はなく、業績の安定性および資本還元を好ましい水準のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）で提供すると見込んでいます。肥満症治療薬への期待感が引き続き注目を集めていますが、今後もこのようなイノベーション（技術革新）にけん引された新製品の販売などにより、医療業界のファンダメンタルズが強固で良好な流れは継続すると見込んでいます。特に、製薬会社はAI技術を活用して医薬品開発の成功確率向上を推進できるとともに、創薬プロセスの時間やコストの大幅短縮により効率化と革新が期待できると見込んでいます。AI技術の活用で明確な戦略を有する「医療関連企業」の収益は着実に増加することが見込まれるため、株式市場の上昇時において魅力ある「医療関連企業」は株価上昇が期待されます。

基本的な「医療」関連市場の成長シナリオは、経済成長が著しい新興国が豊かになるにつれ、所得上昇と高齢化を通じて市場が拡大していくという見方に変更はありません。また先進国においても、財政悪化による医療の質的転換がさらに進むと考えられ、新しい医療技術や薬品・医療ビジネスが誕生していることから、その投資機会の豊富さに変わりはないと考えています。

今後も、これまで通り成長テーマを持つ世界中の企業への取材を行い、その中から収益の拡大が見込まれ、株価上昇が期待できる「医療産業」関連銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築していく方針です。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ELI LILLY & CO	米ドル	8.6%
NOVO-NORDISK A/S	デンマーク・クローネ	7.7
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	6.5
UNITEDHEALTH GROUP INC	米ドル	6.5
JOHNSON & JOHNSON	米ドル	6.2
MERCK & CO INC	米ドル	5.2
ABBVIE INC	米ドル	5.0
INTUITIVE SURGICAL INC	米ドル	4.5
NOVARTIS AG	スイス・フラン	4.2
ROCHE HOLDING AG	スイス・フラン	4.0
組入銘柄数		30

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

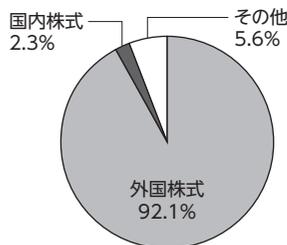
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

### ■ 純資産等

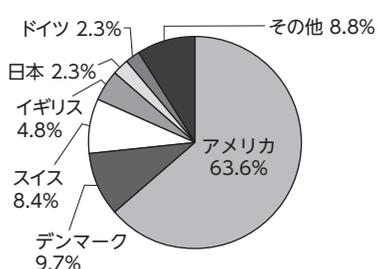
項目	第27期末 2024年9月17日
純資産総額	3,098,390,851円
受益権総口数	2,339,204,300口
1万口当たり基準価額	13,245円

(注) 当期間中における追加設定元本額は88,848,430円、同解除元本額は157,687,320円です。

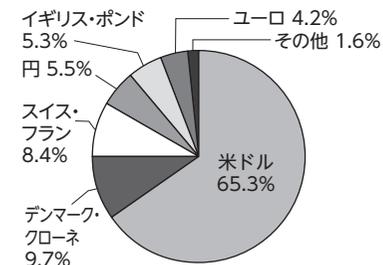
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、2024年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	株式 組入比率	純資産 総額
		円	円			
23期(2022年9月20日)	円 13,525	円 1,100	% 11.1	円 28,725	% 95.3	百万円 3,678
24期(2023年3月17日)	12,369	700	△ 3.4	28,269	94.1	3,527
25期(2023年9月19日)	13,560	1,100	18.5	30,560	97.0	3,532
26期(2024年3月18日)	13,674	1,200	9.7	31,874	95.2	3,292
27期(2024年9月17日)	13,245	1,000	4.2	32,445	94.4	3,098

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
		%	%
(期首)2024年3月18日	円 13,674	% -	% 95.2
3月末	13,976	2.2	94.0
4月末	13,926	1.8	93.9
5月末	14,200	3.8	95.5
6月末	15,083	10.3	96.6
7月末	14,767	8.0	96.9
8月末	14,732	7.7	97.4
(期末)2024年9月17日	14,245	4.2	94.4

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2024年3月19日～2024年9月17日

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		12	67,700	23	75,453
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		39	110	107	2,051
	オーストラリア	—	千オーストラリア・ドル	—	千オーストラリア・ドル
		—	—	1	44
	イギリス	49	千イギリス・ポンド	28	千イギリス・ポンド
			88		83
	スイス	15	千スイス・フラン	12	千スイス・フラン
			199		160
	デンマーク	—	千デンマーク・クローネ	30	千デンマーク・クローネ
		—	—		2,798
	ユーロ	—	千ユーロ	—	千ユーロ
	フランス	—	—	3	38
	ドイツ	—	—	5	46

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	628,376千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,318,447千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.18

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

## 主要な売買銘柄

2024年3月19日～2024年9月17日

## 株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
第一三共	12	67,700	5,289	ELI LILLY & CO	0.567	74,770	131,871
GSK PLC	4	17,630	3,560	ロート製薬	22	69,659	3,095
NOVARTIS AG	1	17,364	15,742	NOVO-NORDISK A/S	2	54,442	20,089
PFIZER INC	3	17,327	4,412	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	0.391	33,991	86,934
ROCHE HOLDING AG	0.448	17,308	38,635	UNITEDHEALTH GROUP INC	0.409	33,915	82,923
—	—	—	—	JOHNSON & JOHNSON	1	33,066	23,286
				MERCK & CO INC	0.984	15,882	16,140
				ABBVIE INC	0.574	15,737	27,416
				INTUITIVE SURGICAL INC	0.207	14,169	68,449
				NOVARTIS AG	0.812	13,104	16,138

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 利害関係人との取引状況等

2024年3月19日～2024年9月17日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2024年9月17日現在

(1) 国内株式  
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>医薬品(100.0%)</b>			
ロート製薬	26	3	13,524
第一三共	—	11	58,125
<b>合計</b>	<b>株数・金額</b>	<b>26</b>	<b>71,649</b>
	<b>銘柄数&lt;比率&gt;</b>	<b>1</b>	<b>2 &lt;2.3%&gt;</b>

(注1) 銘柄欄の( )内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## (2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
(アメリカ)					
ABBOTT LABORATORIES	62	56	663	93,374	ヘルスケア機器・サービス
ABBVIE INC	62	56	1,101	155,040	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	22	20	685	96,465	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	93	84	423	59,554	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DANAHER CORP	16	15	415	58,518	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ELI LILLY & CO	26	20	1,886	265,603	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILEAD SCIENCES INC	44	39	332	46,802	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	22	20	1,000	140,905	ヘルスケア機器・サービス
JOHNSON & JOHNSON	96	82	1,369	192,758	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	55	50	454	64,020	ヘルスケア機器・サービス
MERCK & CO INC	106	96	1,137	160,174	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PFIZER INC	239	252	760	107,047	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	3	3	394	55,513	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	27	23	1,428	201,091	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	28	24	1,425	200,615	ヘルスケア機器・サービス
VERALTO CORP	5	—	—	—	商業・専門サービス
ZOETIS INC	29	26	522	73,611	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
<b>小計</b>	<b>株数・金額</b>	<b>941</b>	<b>873</b>	<b>14,002</b>	<b>1,971,097</b>
	<b>銘柄数&lt;比率&gt;</b>	<b>17</b>	<b>16</b>	<b>—</b>	<b>&lt;63.6%&gt;</b>

## ニッセイ次世代医療ファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
<b>(オーストラリア)</b> CSL LIMITED	百株 16	百株 14	千オーストラリア・ドル 436	千円 41,384	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	16 1	14 1	436 -	41,384 <1.3%>	
<b>(香港)</b> CHINA ANIMAL HEALTHCARE LTD	7,110	7,110	千香港ドル 0.711	12	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,110 1	7,110 1	0.711 -	12 <0.0%>	
<b>(イギリス)</b> ASTRAZENECA PLC GSK PLC	36 223	33 247	千イギリス・ポンド 403 404	74,963 75,210	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	260 2	281 2	808 -	150,173 <4.8%>	
<b>(スイス)</b> NOVARTIS AG ROCHE HOLDING AG SANDOZ GROUP AG	76 26 15	79 27 13	千スイス・フラン 783 737 48	130,432 122,911 8,017	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	118 3	121 3	1,569 -	261,361 <8.4%>	
<b>(デンマーク)</b> COLOPLAST-B NOVO-NORDISK A/S	34 150	31 123	千デンマーク・クローネ 2,942 11,382	61,740 238,802	ヘルスケア機器・サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	184 2	154 2	14,325 -	300,542 <9.7%>	
<b>(ユーロ/フランス)</b> SANOFI	40	36	千ユーロ 375	58,746	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	40 1	36 1	375 -	58,746 <1.9%>	
<b>(ユーロ/ドイツ)</b> BAYER AG MERCK KGAA	31 24	29 22	77 370	12,130 58,047	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	56 2	51 2	448 -	70,177 <2.3%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	96 3	87 3	823 -	128,924 <4.2%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,727 29	8,643 28	- -	2,853,497 <92.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	2,925,147	86.9
コール・ローン等、その他	439,382	13.1
投資信託財産総額	3,364,530	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月17日における邦貨換算レートは、1米ドル140.77円、1オーストラリア・ドル94.89円、1香港ドル18.06円、1イギリス・ポンド185.84円、1スイス・フラン166.57円、1デンマーク・クローネ20.98円、100韓国ウォン10.67円、1ユーロ156.55円です。

(注2) 外貨建純資産（2,928,176千円）の投資信託財産総額（3,364,530千円）に対する比率は87.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイ次世代医療ファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月17日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,364,530,185円</b>
コール・ローン等	436,192,912
株式(評価額)	2,925,147,298
未収配当金	3,189,975
<b>(B) 負債</b>	<b>266,139,334</b>
未払収益分配金	233,920,430
未払解約金	287,866
未払信託報酬	31,781,374
その他未払費用	149,664
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,098,390,851</b>
元本	2,339,204,300
次期繰越損益金	759,186,551
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,339,204,300口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>13,245円</b>

(注) 期首元本額	2,408,043,190円
期中追加設定元本額	88,848,430円
期中一部解約元本額	157,687,320円

### 損益の状況

当期 (2024年3月19日~2024年9月17日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>27,534,068円</b>
受取配当金	26,881,320
受取利息	652,839
その他収益金	2
支払利息	△ 93
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>135,825,002</b>
売買益	305,561,592
売買損	△ 169,736,590
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 32,429,883</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>130,929,187</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>235,976,795</b>
(分配準備積立金)	( 235,976,795)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>626,200,999</b>
(配当等相当額)	( 583,953,768)
(売買損益相当額)	( 42,247,231)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>993,106,981</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 233,920,430</b>
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	<b>759,186,551</b>
追加信託差損益金	626,200,999
(配当等相当額)	( 583,953,768)
(売買損益相当額)	( 42,247,231)
分配準備積立金	132,985,552

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,069,633円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	108,859,554円
(c) 信託約款に定める収益調整金	626,200,999円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	235,976,795円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	993,106,981円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	4,245.49円
(g) 分配金	233,920,430円
(h) 分配金 (1万口当たり)	1,000円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2011年3月18日～2026年3月17日
運用方針	主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	日本を含む各国の株式
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。